

4. 事業の必要性等【事業の投資効果】 令和3年6月11日時点

◆費用対効果分析

岩瀬ダム費用対効果変化要因分析

項目	前回評価 (平成30年度)	今回評価 (令和3年度)	変更理由	
			H30→R03	
目標流量 基準地点 : 柏田	10,500m ³ /s (整備計画流量:平成17年9月実績相当)	同左		
事業費	500億円	500億円 (税抜き:465億円)		
整備期間	平成31年から平成45年まで	平成31年から令和15年まで		
整備内容	岩瀬ダム再生	同左		
全事業	689		782	
	便益:B (億円)	一般資産被害額 : 242.5億円 (35.2 %)	一般資産被害額 : 395.3億円 (50.6 %)	統計データの更新、治水経済調査マニュアル変更
		農作物被害額 : 1.6億円 (0.2 %)	農作物被害額 : 1.1億円 (0.1 %)	
		公共土木施設等被害額 : 410.8億円 (59.7 %)	公共土木施設等被害額 : 307.1億円 (39.3 %)	
		営業停止損失 : 9.9億円 (1.4 %)	営業停止損失 : 24.4億円 (3.1 %)	
		応急対策費用 : 12.9億円 (1.9 %)	応急対策費用 : 41.7億円 (5.3 %)	
		残存価値 : 10.9億円 (1.6 %)	残存価値 : 12.1億円 (1.5 %)	
	費用:C (億円)	314	348	
	B/C	2.2	2.2	
	残事業	689		782
便益:B (億円)		一般資産被害額 : () %	一般資産被害額 : 395.3億円 (50.6 %)	統計データの更新、治水経済調査マニュアル変更
		農作物被害額 : () %	農作物被害額 : 1.1億円 (0.1 %)	
		公共土木施設等被害額 : () %	公共土木施設等被害額 : 307.1億円 (39.3 %)	
		営業停止損失 : () %	営業停止損失 : 24.4億円 (3.1 %)	
		応急対策費用 : () %	応急対策費用 : 41.7億円 (5.3 %)	
		残存価値 : () %	残存価値 : 12.1億円 (1.5 %)	
費用:C (億円)			337	
B/C			2.3	

4. 事業の必要性等【事業の投資効果】 令和4年3月8日時点

◆費用対効果分析

岩瀬ダム費用対効果変化要因分析

項目	前回評価 (平成30年度)	今回評価 (令和3年度)	変更理由	
			H30→R03	
目標流量 基準地点 : 柏田	10,500m ³ /s (整備計画流量:平成17年9月実績相当)	同左		
事業費	500億円	500億円 (税抜き:465億円)		
整備期間	平成31年から平成45年まで	平成31年から令和15年まで		
整備内容	岩瀬ダム再生	同左		
全事業	689		781	
	便益:B (億円)	一般資産被害額 : 242.5億円 (35.2 %)	一般資産被害額 : 395.0億円 (50.6 %)	統計データの更新、治水経済調査マニュアル変更
		農作物被害額 : 1.6億円 (0.2 %)	農作物被害額 : 1.1億円 (0.1 %)	
		公共土木施設等被害額 : 410.8億円 (59.7 %)	公共土木施設等被害額 : 306.9億円 (39.3 %)	
		営業停止損失 : 9.9億円 (1.4 %)	営業停止損失 : 24.4億円 (3.1 %)	
		応急対策費用 : 12.9億円 (1.9 %)	応急対策費用 : 41.7億円 (5.3 %)	
		残存価値 : 10.9億円 (1.6 %)	残存価値 : 12.1億円 (1.6 %)	
	費用:C (億円)	314	348	
	B/C	2.2	2.2	
	残事業	689		781
便益:B (億円)		一般資産被害額 : () %	一般資産被害額 : 395.0億円 (50.6 %)	統計データの更新、治水経済調査マニュアル変更
		農作物被害額 : () %	農作物被害額 : 1.1億円 (0.1 %)	
		公共土木施設等被害額 : () %	公共土木施設等被害額 : 306.9億円 (39.3 %)	
		営業停止損失 : () %	営業停止損失 : 24.4億円 (3.1 %)	
		応急対策費用 : () %	応急対策費用 : 41.7億円 (5.3 %)	
		残存価値 : () %	残存価値 : 12.1億円 (1.6 %)	
費用:C (億円)			337	
B/C			2.3	

※修正箇所を朱書きにて表示